

体外診断用医薬品

 クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ
ヒストファイン シンプルステインMAX-PO (MULTI)
 (シリーズ共用試薬)

 [DAB 基質キット(ヒストステイナー用)]
 発色基質 (試薬 A) 3,3'-ジアミノベンジジン・4HCl
 基質緩衝液(試薬 B)
 発色試薬 (試薬 C) 0.6vol%過酸化水素水

包装 : 600 テスト Code : 725191

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

 〒104-8402
 東京都中央区築地 6-19-20
 TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、クラスⅢ免疫組織学検査用シリーズ ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(MULTI)の構成試薬 発色基質、基質緩衝液、発色試薬であり、自動染色装置ヒストステイナー用試薬である。

■本品を使用する際は、ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(MULTI) (ヒストステイナー用)の添付文書をよく読んで使用すること。

**■本品は、以下に記したキットの構成試薬 発色基質、基質緩衝液、発色試薬としても使用できるため、以下に記したキットと組み合わせて使用する場合は、それぞれの添付文書をよく読んで使用すること。

1. ヒストファイン SAB-PO (M)キット(ヒストステイナー用)
2. ヒストファイン SAB-PO (R)キット(ヒストステイナー用)
3. ヒストファイン SAB-PO (MULTI)キット(ヒストステイナー用)
4. ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO (M)(ヒストステイナー用)
5. ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO (R)(ヒストステイナー用)
6. ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(MULTI) ALK(ヒストステイナー用) **

1. 内容

ペルオキシダーゼ基質キット・・・DAB 基質キットは3種類の試薬から構成される。

この基質はペルオキシダーゼと反応して茶褐色に発色する。

液状。

発色基質 (試薬 A)	3,3'-ジアミノベンジジン・4HCl	・・・3mL×2 本
基質緩衝液 (試薬 B)		・・・3mL×2 本
発色試薬 (試薬 C)	0.6vol%過酸化水素水	・・・3mL×2 本
基質溶液用専用試薬ボトル(空ボトル)		2 本

*2. 基質溶液の調製

発色基質(試薬 A)1滴(約 20 μ L)と基質緩衝液(試薬 B)1滴(約 20 μ L)を精製水 1mLに加え、泡立てないように注意して混合する。次に発色試薬(試薬 C)1滴(約 40 μ L)を加え、再び泡立てないように注意して混合する。取り扱いに注意し、静かに基質溶液用専用試薬ボトルに移す。遮光して冷蔵(2-8 $^{\circ}$ C)保存し、一週間以内に使用する。

注1) 調製日の異なる基質溶液は、混合して使用しないこと。

注2) 基質溶液用専用試薬ボトル中の液面上に泡があるとヒストステイナーのノズルが、泡の表面を液面と誤認識する事があり、その結果、液面までノズルが下がらず、設定された試薬量を採取できない場合がある。試薬を基質溶液用専用試薬ボトルに移した後やヒストステイナーにセットする前には、泡の有無を確認し、泡をピペットなどで取り除いて使用すること。

■参考：発色基質(試薬 A)2滴(約 40 μ L)、基質緩衝液(試薬 B)2滴(約 40 μ L)、発色試薬(試薬 C)1滴(約 40 μ L)の基質溶液を調製することで、発色が強くなり、良好な染色結果が得られる場合がある。

*3. 使用方法

- 1) 他の試薬とともにヒストステイナーにセットし、染色を開始する。セットする前にボトル内の泡の有無を確認し、有れば泡をピペットなどで取り除くこと。
- 2) 染色終了後、脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤(Code : 415141)で封入し、標本とする。
- 3) 染色終了後、ヒストステイナーから取り出し、2-8 $^{\circ}$ Cで保存する。
- 4) 染色終了後、基質溶液用専用試薬ボトルに残った基質溶液を保存せず廃棄する場合、基質溶液のみを廃棄した後、ボトル内を精製水で洗浄し、完全に乾かしてボトルは再利用する。

4. 染色方法の設定

反応時間を 10 分間とする。

**5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用前に室温に戻すこと。
4. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
5. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

**6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 発色基質(試薬 A)である 3,3'-ジアミノベンジジン・4HCl は変異原性が認められているので、取扱に際しては十分注意すること。
6. 発色試薬(試薬 C)には過酸化水素水が含まれているので、取扱に際しては十分注意すること。
7. ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

試薬バーコードラベルを使用する場合は、自動染色装置ヒストステイナーのプログラムにバーコードラベル情報を入力する必要がある。本製品が未登録の場合は、下記データを入力(漢字のみ全角、他半角入力)し、登録すること。

専用ボトルに貼付されているバーコードラベル内の情報

登録するカテゴリ	Substrate
試薬名	DAB 基質溶液
試薬略称(10 文字)	DAB
バーコード	DAB
時間(分)	10

7. 文献

Trojanowski, J. Q. et al.: J Histochem. Cytochem. 31: 1217, 1983